

褥瘡有病率・発生率

褥瘡とは、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし、さらに摩擦やズレが加わり傷となる、いわゆる『床ずれ』の状態をいいます。

当院には皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍しており、医師・担当看護師、時には理学療法士と連携を取りながら治療や予防に努めています。また、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など様々な職種により構成される褥瘡対策チームにより、さらに治療内容の検討・評価をしております。その結果、持ち込みによる有病率は上昇しているものの、院内発生率は全国平均を下回っている状態です。

調査施設における褥瘡有病率・推定発生率（2013年）

施設区分	有病率（%）	発生率（%）
一般病院	1.99	1.60
一般病院 ¹	2.20	1.52

注1：療養型病床を有する一般病院

当院における褥瘡有病率・推定発生率・治癒率

	有病率（%）	発生率（%）	治癒率（%）
令和3年度	3.44	0.40	18.01
令和4年度	4.23	0.52	29.09
令和5年度	2.78	0.19	26.61

